

## 事前評価個表

整理番号	23
------	----

地域（地区）名	れいほくによど 嶺北仁淀	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	高知県	対象市町村	おおとよ 大豊町ほか9市町村
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北西部が愛媛県と北東部が徳島県と境界を接する高知県中部に位置する。北部には、石鎚山系の笹ヶ峰(1,860m)、瓶ヶ森(1,896m)、筒上山(1,859m)等の高峰群が連なり、急峻な地形を成している。</p> <p>主な水系は、いの町の瓶ヶ森を源流として本地区を横断し、徳島県に流下する吉野川と、愛媛県から南東方向に流下し、高知平野に注ぐ仁淀川である。吉野川流域には、大森川ダム、長沢ダム、大橋ダム、そして四国の水瓶早明浦ダムが、また、仁淀川流域には、大渡ダム、筏津ダムがあり、豊富な水資源は、本県はもとより徳島県及び香川県の生活・産業に大きく寄与している。</p> <p>本地区の森林の現況を見ると、民有林面積は136千ha、蓄積は59,628千m<sup>3</sup>であり、国有林を含めると区域面積の約86%を森林が占めている。そのうち人工林面積は、97千ha(人工林率約71%)であり、Ⅷ齢級以上のスギ・ヒノキが90千ha(93%)を占め、本格的な収穫期を迎えている。</p> <p>これらの背景から、本地区では今後、森林資源の有効活用のための主伐・搬出間伐、主伐後の再造林、保育間伐等をバランス良く実施し、水源涵養や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能の高度な発揮を確保していく「健全な森づくり」を推進する必要がある。</p> <p>本地区では、各市町村が策定した森林整備計画より、水源涵養や自然環境に配慮した森林整備を推進している。また、森林資源の適正管理、有効利用の観点から、森林経営計画の策定エリア拡大を推進し、施業地の集約化を進め、高性能林業機械等による生産性の向上を図り、生産コスト縮減及び間伐材等の有効利用拡大を目指している。</p> <p>本事業では、効率的な森林施業の実施に不可欠な路網整備と、森林計画等に基づく保育間伐・搬出間伐・再造林等の森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,712ha 人工造林、下刈、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林業専用道 5,300m 生産基盤道 6,200m</p> <p>総事業費：7,888,192千円(税抜き 7,303,882千円)</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 3.16 (総便益(B) = 28,927,680千円、総費用(C) = 9,148,908千円)</p>
評価結果	<p>必要性：人工林面積のうち、Ⅷ齢級以上の林分が93%を占めており、今後主伐施業が進み、森林の有する公益的機能の高度な発揮のため、伐採跡地への再造林が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林施業の機械化に必要な既設林道等の活用、森林作業道整備等、効率的な路網整備を進め森林資源の有効活用を促すとともに、主伐後の再造林、保育間伐等を実施し森林の有する公益的機能の発揮を目指しており、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 高知県

地域(地区)名: 嶺北仁淀<sup>れいほくによど</sup>

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	7,489,261	
	流域貯水便益	2,602,075	
	水質浄化便益	5,542,481	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,251,494	
環境保全便益	炭素固定便益	2,528,130	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,037	
	木材利用増進便益	332	
	木材生産確保・増進便益	2,557,590	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	3,955,280	
総 便 益 (B)		28,927,680	
総 費 用 (C)		9,148,908	
費用便益比	$B \div C = \frac{28,927,680}{9,148,908} = 3.16$		

# 森林環境保全整備事業 嶺北仁淀地域(高知県) 概要図

